

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
--------------------------	-----------------------------------

株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
-------------------	--

(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
----------	---

(電話照会先)	☎ 0120-782-031
---------	----------------

(インターネット ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
------------------------	---

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

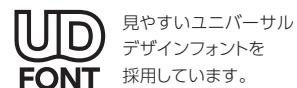
単元株式数	100株
-------	------

公告方法	電子公告の方法により行います。 (当社ホームページURL http://www.manac-inc.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法で行います。
------	---

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
---------	---------------



<http://www.manac-inc.co.jp/>



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。

マナックは、化学をベースに、技術と知識の融合により
先端技術産業が求める機能を開発・提供する
研究開発型モノづくり会社です。

第73期のご報告 株主通信

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日



証券コード: 4364

ごあいさつ

第73期の株主通信をお届けするにあたり、株主様をはじめとする関係者の皆様の日ごろのご支援とご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。

マナックのルーツは、江戸時代から瀬戸内海で行われていた製塩業にさかのぼります。1948年(昭和23年)の設立以来、地元の美しい海から生まれた技術を進化させ、医療分野やIT分野をはじめとする先端技術産業からの「高度なニーズ・潜在的なニーズ」にお応えすべく製品開発を進めてまいりました。

そして2018年、当社は創立70周年を迎えます。その歴史の中で培ってきた臭素・ヨウ素関連事業をコアコンピタンスとして、次なるステージへ向けて新たな飛躍を目指してまいります。

これからも研究・開発、技術革新に挑み、社会に貢献することを使命としてスペシャリティーケミカルの可能性を追求してまいりますので、株主の皆様には、さらなるご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
村田 耕也

企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに
社会の進化・発展に貢献する』
～進化する技術、そして進化する人間をめざして

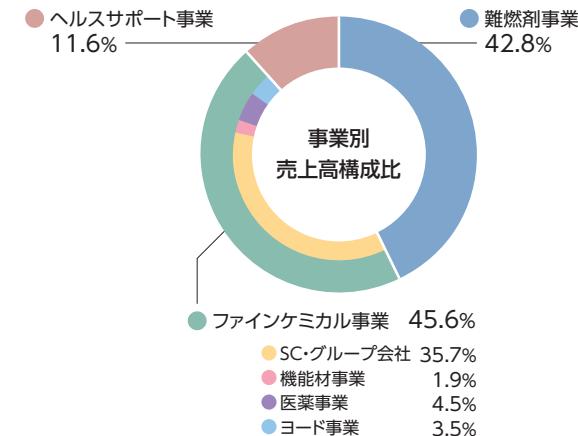
経営理念

- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会から注目される会社をめざし、常に『革新』

第73期において、当社グループは、高付加価値製品の開発、国内外における新規市場の開拓、既存市場・既存製品の深耕に積極的に取り組んだものの、売上高及び利益ともに前期比で減少いたしました。

この結果、売上高は8,574百万円(前期比△538百万円)、営業利益は206百万円(同△97百万円)、経常利益は255百万円(同△9百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は144百万円(同△174百万円)となりました。

セグメント別では、ファインケミカル事業の売上高は、3,906百万円(前期比△801百万円)、難燃剤事業の売上高は3,671百万円(同+271百万円)、ヘルスサポート事業の売上高は996百万円(同△7百万円)となりました。



連結財務ハイライト



多様性のある人材育成とアライアンスへの取り組み

急増するグローバル・マーケットの需要に対応できる
生産能力の増強で、利益の出る経営を目指したい。

創立70周年を迎える今年、新しい代表取締役社長のもとで次なる飛躍を目指すマナック。
2018年3月期の業績総括とともに新社長としての抱負をお伝えします。

2018年3月期の概況について
お聞かせください。

当期は、臭素・難燃ソリューション事業部とケミカル・ソリューション事業部という二事業部制による新体制がスタートし、最初の業績が計られる期となりました。まず、臭素・難燃ソリューション事業は、2017年夏以降から引き合いが強くなった中国市場の伸びを受け、売上高で前期比8%の伸びを示しました。この流れは、今後も続くものと見ています。

これに対して、受託生産を担うケミカル・ソリューション事業では大型医薬品の在庫過多の影響や有機EL用材料の需要の落ち着きなど外部要因もあり、売上高で前期比17%のマイナスとなりました。全体としては、前期比6%の減収にとどまりました。

新社長としてどのようなかじ取りを
お考えですか。

私は薬学部出身の技術系で、当社で初めての薬剤師として入社しました。当初は医薬品管理が主な業務でしたが、後に研究開発部門に配属され10年ほど製品開発に携わりました。そこで、江戸時代から続く製塩の副産物である「にがり」から難燃剤や医薬原料の開発、さ

らに高機能ケミカル製品の開発に至る技術開発の歴史を目の当たりにしてきました。

創立70周年は、新たなマナックへの変革のタイミングとらえています。これら海水化学で培った当社独自の技術開発力・技術革新力をさらに高めるとともに、もう一方で、分野、男女、国籍にとらわれない多様性のある人材育成に取り組んでいきたいと考えています。瀬戸内の海から世界へ、グローバル・マーケットへと漕ぎ出すために、どちらも欠かすことのできない資源として、育てていきたいと考えています。

臭素・難燃ソリューション事業部について
お聞かせください。

新体制になる前は難燃剤事業部と称していましたが、「剤」を外して難燃という機能を売っていこうという方針のもとに、難燃剤をつくるだけでなくお客様が望む難燃を実現するためにどうしたらいいかを会社として考えていくことを目指しています。頭に「臭素」をつけたのは、主材料なのでその副産物の利用も含めてこの事業部で考えていこうという意図を表しています。難燃剤の原料となる臭素は、もともと製塩の過程で生まれる副産物でした。それを利用した製品が、“燃えにくくする”材料である難燃剤や、写真の感光材の材料でした。今、また新たな技術変革を目指しています。

臭素もヨウ素も扱いが難しく、環境に悪影響を与えず高品質な製品をつくる技術は当社の最大の強みです。家電やパソコン、建築などのマーケット拡大で難燃への需要は伸び続けていて、世界的な規模で今後の大きな伸びが期待できます。

ケミカル・ソリューション事業部について
お聞かせください。

ケミカル・ソリューション事業の中核は、有機合成技術で医薬品や電子材料の中間体を受注生産する仕事です。医薬品分野では、大型医薬品開発の過程で必要な中間体を製薬会社から委託されて製造します。中間体は医薬品開発コストやスピードを左右する重要な製品であるため、初期段階に中間体の製造をお客様から依頼されることは、当社への技術評価の証となります。人材的には、ケミカル・ソリューション事業の方が多くを要します。扱う品数が多いので、常に新しい技術の開発が必要だからです。

新体制によって、従来のヘルスサポート事業もこのケミカル・ソリューション事業部に属しています。人工透析に使われる原料が主な製品で、今後も売上10億円規模で安定した成長が見込まれます。



安定的な受注を維持するのは、つまるところ人。
優秀な人材をグローバル・スケールで。



グローバル・マーケットへの
展望はいかがですか。

中国では今、高付加価値の難燃剤の需要が高まっています。中国の企業も難燃剤を製造していましたが、環境基準が厳しくなったため多少高くても日本の製品を調達する傾向にあります。その需要を担うのは上海市に設立した現地法人「マナック(上海)貿易有限公司」です。現地法人の強みを活かした営業活動の即応性で、現地企業から欧米企業に至るまで積極的な営業活動を展開しています。

中国に次いで注視している国はインドです。インドは難燃剤を製造する技術力があります。アライアンスを組むことで新たな展開が生まれれば、中国以上の可能性も感じます。

もう一つの柱は、欧州向けのヨウ素化合物販売です。現地法人はありませんが、すでに出張ベースで成果を上げつつあり、今後も力を入れていきたいと思っています。

今後の取り組みや目標について
お聞かせください。

グローバル・マーケットへの本格的な進出に伴い、難

燃剤需要の急激な増加が予想されます。それに向けて、増産体制をどう整えていくかは当面取り組むべき課題です。また、一方で自社生産にとらわれない柔軟な発想も大事だと思います。例えば信頼できる会社とアライアンスを結び、これまで培ってきた技術などをオープンにして製造委託するような協業体制もその一つです。

人材面では、技術系にとらわれない多様な人材を確保することも急務です。それは、人種や国籍も越えた多様性です。現在でも中国やベトナムなどから優秀な人材を得ています。安定的な受注を維持するのは、つまるところ人なのです。それをグローバル・スケールで実現していきたいと思っています。

また、社会の発展にともなう新しいビジネスチャンスにも機敏に対応していく所存です。例をあげるならば自動車EV化などもその一つかもしれません。自動車には従来難燃性があまり求められてきませんでした。ところがEV化が進むと熱をもちやすい内装や部品に対する難燃性の基準が引き上げられることが予想されます。難燃剤に対する需要も一気に高まるかもしれません。

最後に株主様へのメッセージを
お願いします。

当期は、減収とはなりましたが、安定配当方針を維持するために期末配当金につきましては、1株当たり5円に加え、創立70周年を迎えることで記念配当として5円を増額し、10円とさせていただきます。

当社は、安定売上・安定利益の会社として株主様からも堅実な評価をいただいております。その安定経営の上に立ちつつも、これからはいかに儲けるかを考えていくことも大切だと思います。「しっかり儲けて、しっかり利益還元をさせていただく。」創立70周年を迎える来期はそのスタートにする所存です。

株主様には、さらなるご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 村田 耕也



昭和51年(1976年)に新卒入社。マナックで初の正社員薬剤師となる。医薬関係製品の管理業務からスタートし、後に研究開発部門で10年余り、製品開発の研究に従事する。平成20年(2008年)から常務取締役として事業開発、購買・環境品質保証、海外企画開発など要職を歴任し、マナック(上海)貿易有限公司の設立にも貢献する。趣味は「数打つ」ゴルフと「娘のための」パエリア料理。

- 昭和51年 3月 大阪薬科大学薬学部製薬学科卒業
- 昭和51年 4月 当社入社
- 平成12年 6月 当社取締役営業本部副本部長
- 平成20年 6月 当社常務取締役事業開発部長
- 平成21年 4月 当社常務取締役福山工場長
兼 購買・環境品質保証部門管掌
- 平成25年 6月 当社常務取締役社長室長 兼 海外企画開発部門管掌
八幸通商株式会社代表取締役社長
- 平成27年 3月 当社常務取締役事業統括 兼 社長室長
八幸通商株式会社代表取締役
- 平成28年 6月 当社専務取締役事業統括
- 平成29年 4月 当社専務取締役ケミカル・ソリューション事業部担当
兼 研究所、マナック(上海)貿易有限公司管掌 兼 購買統括
- 平成30年 4月 当社代表取締役社長

配当関連情報

当社の株主還元方針

利益配分につきましては、長期的観点から事業収益の拡大と株主資本利益率の向上を図るとともに、自己資本の充実と財務体質強化、株主の皆様への長期的、安定的な配当水準の維持に努めながら、利益配当額を決定していく予定です。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

第73期の配当金

第73期の期末配当金につきましては、1株当たり5円に加え、今年5月に当社が創立70周年を迎えることで、記念配当として5円増額し、10円となりました。



マナックはおかげさまで創立70周年を迎えました。

1948年の創立以来『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』という企業理念を具現化することが、当社の使命の全てであると考えます。

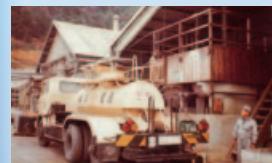
当社の経営資源の中心は『化学技術』に対してあくなき追求をする技術者の面々であり、その化学技術で社会の進化・発展に貢献することは、我々の誇りであり生きがいです。

これからも、変化する市場に対してより多くの価値を提供できるよう、「蓄積した技術(シーズ)と収集した情報(ニーズ)を価値(製品化)に変える」マーケティングという行為(機能)を強化し、「業界競争力とスピード」を特に意識して経営資源の補強を図って、投資家・株主の皆様にご認知いただける企業価値の向上を図りたいと考えております。

マナックは、創立100周年までも進化・発展する会社をめざします。



松永化学工業株式会社創立(昭和23年)



難燃剤の生産開始(昭和44年)



箕沖工場操業開始(昭和53年)



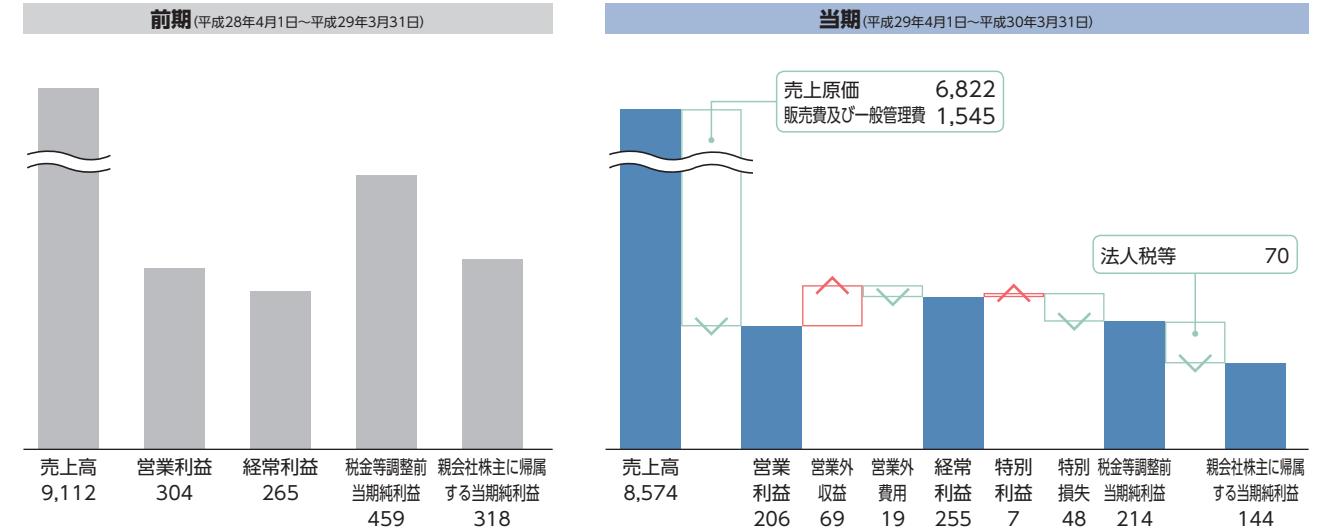
難燃剤大型プラント完成(平成4年)



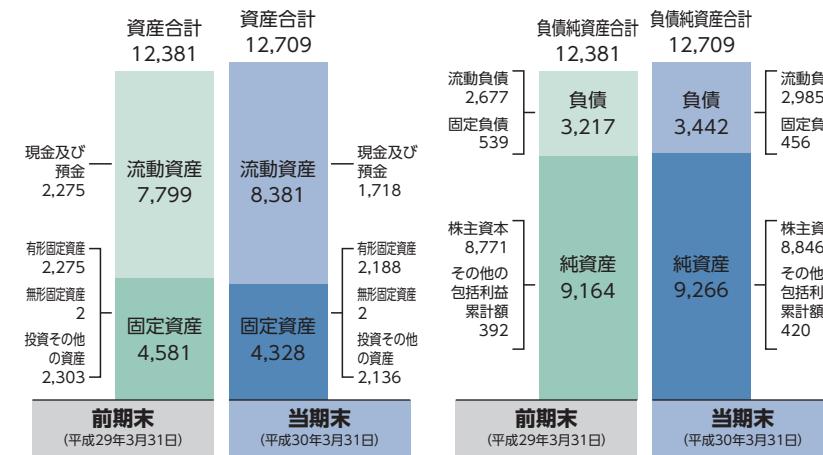
関連会社ヨード・ファインケム株式会社設立(平成16年)

1948	昭和23年	松永塩業組合から苦汁(にがり)部門が分離独立し、松永化学工業株式会社を設立
1952	昭和27年	写真感光材料の生産開始 試薬の生産開始
1958	昭和33年	臭素化合物の生産開始
1960	昭和35年	医薬品製造業許可取得
1969	昭和44年	難燃剤の生産開始
1978	昭和53年	箕沖工場操業開始
1988	昭和63年	マナック株式会社に社名変更
1990	平成2年	広島証券取引所に株式上場
1992	平成4年	箕沖工場に難燃剤大型プラント完成
2000	平成12年	東京証券取引所市場第二部に株式上場
2004	平成16年	関連会社ヨード・ファインケム株式会社を設立
2007	平成19年	本社を広島県福山市箕沖町に移転
2009	平成21年	八幸通商株式会社を子会社化
2010	平成22年	世界初、宇宙帆船の帆にマナックの新規ポリイミドフィルム原料を提供
2013	平成25年	海外企画開発室を設置
2016	平成28年	中国上海市にマナック(上海)貿易有限公司を設立

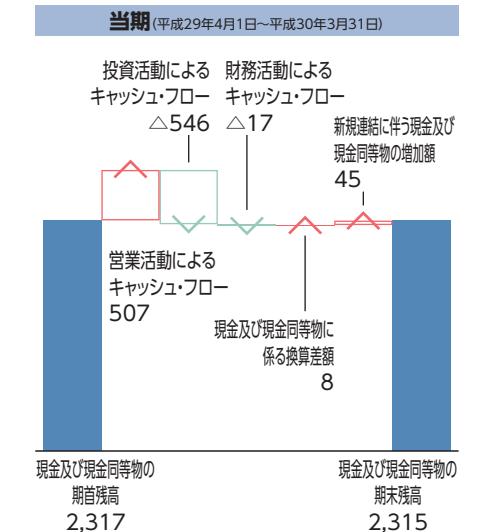
連結損益計算書 (単位:百万円)



連結貸借対照表 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



株式の状況

(2018年3月31日現在)

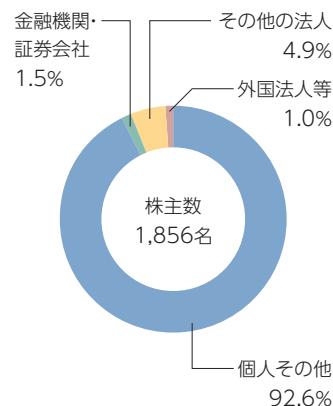
発行可能株式総数	23,200,000株
発行済株式総数	8,625,000株
株主数	1,856名

大株主(上位10名)

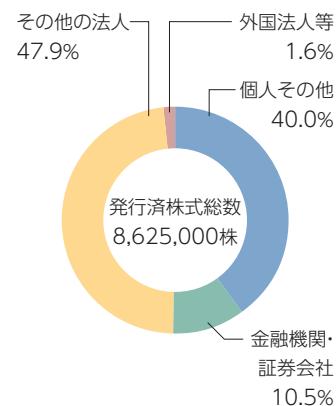
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
一般財団法人松永財団	1,654	20.6
東ソー株式会社	1,608	20.0
株式会社広島銀行	322	4.0
杉之原 祥二	254	3.2
マナック社員持株会	253	3.2
株式会社合同資源	200	2.5
光和物産株式会社	121	1.5
中尾薬品株式会社	101	1.3
東洋証券株式会社	100	1.2
日本生命保険相互会社	88	1.1

(注) 1. 上記のほか、当社保有の自己株式が591千株あります。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主数別分布状況



株式数別分布状況



会社概要

(2018年3月31日現在)

社名	マナック株式会社 MANAC INCORPORATED
本社所在地	〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目8番4号 日本橋さくら通りビル6階
設立	1948年(昭和23年)5月
資本金	17億5,750万円
従業員数	190名(グループ従業員数 313名)
事業内容	難燃剤、医薬品、高機能性材料、電子材料、 食品添加物など様々な分野の先端技術産 業に原材料を供給

役員

(2018年6月26日現在)

代表取締役会長	杉之原 祥二
代表取締役社長	村田 耕也
代表取締役専務	小林 和正
常務取締役	千種 琢也
取締役	西山 孝史
取締役	大村 元宏
取締役	工藤 雅之
取締役(監査等委員)	内海 康仁
取締役(監査等委員)	本田 祐二
取締役(監査等委員)	豊田 基嗣

(注) 取締役 工藤雅之氏、内海康仁氏、本田祐二氏及び豊田基嗣氏は、社外取締役であります。

主な事業所

本社 〒103-0027
東京都中央区日本橋3丁目8番4号
日本橋さくら通りビル6階
TEL: 03-3242-2561
FAX: 03-3242-2564

大阪営業所 〒541-0041
大阪市中央区北浜3丁目5番22号
オリックス淀屋橋ビル3階
TEL: 06-6227-5988
FAX: 06-6227-5978

福山工場・
研究所 〒721-0956
広島県福山市箕沖町92番地
※(登記上本店) TEL: 084-954-3330
FAX: 084-953-8523
FAX: 084-957-4370



郷分事業所 〒720-0093
広島県福山市郷分町
950番地の1
TEL: 084-951-2501
FAX: 084-951-2502



子会社

社名 マナック(上海)貿易有限公司
本店 中国上海市長寧区仙霞路317号
遠東国際広場B棟1406室
事業内容 中国国内における化学品の輸出入業務

社名 八幸通商株式会社
[100%出資子会社で南京八幸業業科技有限公司
(中国・南京市)も連結子会社としております。]



本社 〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番6号
晴花ビル3階
事業内容 化学薬品の製造、販売

社名 エムシーサービス株式会社
本社 〒721-0956
広島県福山市箕沖町92番地
事業内容 倉庫賃貸

関連会社

社名 ヨード・ファインケム株式会社
本社 〒104-0031
東京都中央区京橋2丁目12番6号 東信商事ビル7階
事業内容 ヨード化合物の製造、販売